

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 大館市清水4-4-15
名称 株式会社伊徳
代表者 代表取締役社長 塚本徹

株式会社伊徳

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

「暮らし提案」「人への優しさ」「環境への配慮」の3つのキーワードを中心に、事業活動を通じて、地域の皆様のお役に立ち、環境・社会の持続可能な発展を目指すSDGsの目標達成に貢献してまいります。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 <small>(※初回記入不要。1年ごとに要報告) 初回登録年月日：R3年11月19日</small>	関連する主な SDGs ゴール (最大3つ)
☑経済 □社会 ☑環境	環境保全としてごみの削減とリサイクル活動に取組む	ごみの排出量を5%削減(2020年度比)、トレーtoトレーによる循環型資材の活用でCO2削減(2020年度比30%増)	*ごみの排出量 2022年度実績で前年比84%。 *トレーの循環型資材活用でCO2削減効果が410t/co2の30%増。引き続き再生トレーの導入拡大に取組む。	12 13 17
□経済 ☑社会 ☑環境	食育や健康促進活動や職場体験、インターシップの受入れに積極的に取組む	ファイブアディ(食育)や職場体験、インターシップ受入れの増加(2020年度比で参加人数10%増)	*ファイブアディに276人参加(基準年度実績なし)。インターシップは297%、職場見学は206%と受入れ人数増加。	3 4 11
☑経済 ☑社会 ☑環境	地域資源を積極的に利用した地産地消や地域の食文化を継承した暮らし提案に取組む	地域の旬商品(野菜や果物、近海魚や地場産お肉)のフェア企画や地域祭典、行事イベントでの伝統食など年間を通じて提案する(年52週の実施)	*産地直送コーナーの展開を始め、野菜、果物や近海魚等の地場商品の展開、販売を強化。特に旬商品は露出を高め取組んだ。	8 14 15

ゴール 番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール 番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさも守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	